



District 76

Minutes of the 2020-2021 District Council Meeting (DCM) Meeting #1

2021-2022年度 ディストリクト76 第1回評議会 議事録

Date: 2021年9月26日 (日)

Venue: Zoom (オンライン)

Attendees:

☆ ディストリクト執行役員及びディビジョンディレクター

前期ディストリクトディレクター 大橋 祐介

ディストリクトディレクター	松本 真紀	教育担当ディレクター	岸 大介	クラブ担当ディレクター	宮脇 貴英
広報マネージャー	内田 勇輝	財務マネージャー	瀧口 仙子	総務マネージャー	柏木 洋彦
ディビジョンAディレクター	寺井 嘉哉	ディビジョンBディレクター	孫 錦	ディビジョンCディレクター	荒木 麻衣
ディビジョンDディレクター	稲葉 一晃	ディビジョンEディレクター	渡辺 真史	ディビジョンFディレクター	吉川 正彦
ディビジョンGディレクター	松本 久美子	ディビジョンHディレクター	酒井 治美	ディビジョンIディレクター	矢野 正恭
ディビジョンJディレクター	伊藤 貴志				

☆ エリアディレクター (合計数のみ)

44

☆ クラブ会長, 教育担当副会長(合計数のみ)

ディビジョン A	23	ディビジョン B	33	Total:	250
ディビジョン D	27	ディビジョン E	31	ディビジョン C	21
ディビジョン G	24	ディビジョン H	21	ディビジョン F	36
ディビジョン J	7			ディビジョン I	27

☆ 特任ディストリクトリーダー

ディストリクトパラメンタリアン ダニエル・ロス

☆ 招待ゲスト

前会計監査委員会委員長	眞山 徳人	会計監査委員会委員	樋口 泰伸	クラブ拡張委員会委員長	内藤 一郎
クラブ維持委員会委員長	天満 嗣雄	グローバルリエゾンチーム リーダー	栗崎 由子	ITサポーター	田中 真幸
前財務マネージャー	鈴木 兼四				(下線は欠席者)

時間	議事	担当者
13:00	開会 ディストリクトディレクター松本が評議会開会を宣言した。	ディストリクトディレクター 松本 真紀
	挨拶 ディストリクトディレクター松本が開会の挨拶をした。	ディストリクトディレクター 松本 真紀
	ディストリクトミッションの確認 ディストリクトディレクター松本がディストリクトミッションを確認した。	ディストリクトディレクター 松本 真紀
13:06	定足数の確認 総務マネージャー柏木が定足数の確認をした。クラブの合計数は225、これにより会長と教育担当副会長の合計数は450。定足数は150(会長と教育担当副会長の3分の1)。出席登録数は249(最終250)。定足数が満たされたことを確認した。	総務マネージャー 柏木 洋彦
13:08	協議予定の採択 ディストリクトディレクター松本が本会の協議予定を説明した。協議予定は全会一致で採択された。	ディストリクトディレクター 松本 真紀
13:12	オンライン議事運営細則の採択 総務マネージャー柏木がディストリクト評議会のオンライン議事運営細則を説明した。本オンライン議事運営細則は全会一致で採択された。総務マネージャー柏木は動議の上げ方を説明した。	ディストリクトディレクター 松本 真紀、総務マネージャー 柏木 洋彦
13:21	任命ディストリクト役員の確認 ディストリクトディレクター松本が、エリアディレクターを除く任命ディストリクト役員を紹介した。エリアディレクターを除く任命ディストリクト役員は全出席者により確認された。(エリアディレクターは、「ディビジョンディレクター・チーム紹介(A-J)」にて確認された。)	総務マネージャー 柏木 洋彦
13:24	2020-2021 財務報告 前財務マネージャー鈴木が、2020-2021年度ディストリクト76の財務報告を行った。	前財務マネージャー 鈴木 兼四
13:35	2020-2021 会計監査報告 前会計監査委員会委員長眞山が、2020-2021年度ディストリクト76の会計監査報告を行った。	前会計監査委員会委員長 眞山 徳人
13:40	ディストリクト成長戦略 DD Report Trio Report ディストリクトディレクター松本は、2021-2022年度ディストリクト76の計画及びビジョン、2021-2022年度ディストリクト予算、並びに2021-2022年度オンラインユーモアスピーチコンテストについて説明した。	ディストリクトディレクター 松本 真紀
14:12	PQD Report 教育担当ディレクター岸は、2021-2022年度ディストリクト76の教育計画を説明し、また、TLI委員会、コンテスト運営委員会、及び全国大会委員会を紹介した。	教育担当ディレクター 岸 大介

ディストリクトディレクター松本は、ディストリクト成長戦略についての質問を受け付けた。

山田（会長、東海）は、各会員が教育プログラムの進捗に関わらず出場者としてユーモアスピーチコンテストに出場者として参加できる根拠を求めた。教育担当ディレクター岸は、その根拠は公式スピーチコンテストルールブックにあると回答した。

長谷川（教育、神楽坂）は、国際スピーチコンテストとユーモアスピーチコンテストの違いは何かと尋ねた。教育担当ディレクター岸は、詳細はT L I で説明する旨を回答した。

佐野（教育、神戸）は、執行部に、ユーモアスピーチコンテストに関する何らかの教育イベントの開催を求めると共に、ディストリクト76の会員に対して速やかに必要な情報を提供するよう求めた。教育担当ディレクター岸は、ユーモアスピーチコンテストに関する教育イベントはT L I で開催する予定であり、それには全員が参加できる旨、回答した。

内海（会長、ICF千葉）は、ユーモアスピーチコンテストのアナウンスが突然だったのはなぜかと尋ねた。教育担当ディレクター岸は、執行部はこのアナウンスの前にユーモアスピーチコンテストに関する多くの議論をすでに行い、ユーモアスピーチコンテストは、それに元々関心がある会員に対して提供すべきであるとの結論に達した旨、回答した。教育担当ディレクター岸は、会員はディストリクトコンテストの前において、柔軟にユーモアスピーチコンテストのスケジュールの管理を行うことができると述べた。クラブ担当ディレクター宮脇は、他のディストリクトではテーマ別スピーチコンテストが行われており、執行部は、ディストリクト76においてそのようなコンテストの機会を提供することの重要性を認識した、と述べた。クラブ担当ディレクター宮脇は、オンラインコンテストの運営は、対面コンテストよりも容易であると指摘すると共に、執行部は多くの会員がそのようなテーマ別スピーチコンテストのその意義について忘れてきていることを懸念している旨を述べた。

志村（会長、東京メトロポリタン）は、なぜユーモアスピーチコンテストに関する決定がDCMではなくDECで行われたかを尋ねた。クラブ担当ディレクター宮脇は、プロトコル6.0は、ディストリクトプロシージャーはDCM又はDECで決定されるがスピーチコンテストの種類及び言語はDECで決定されると規定している旨、回答した。クラブ担当ディレクター宮脇は、しかしながら執行部はこのような決定プロセスを考慮して、本会議においてディストリクト評議会会員からの質問を受け付ける機会を設けている旨、述べた。

安達（教育、東京フェニックス）は、なぜ執行部はテーマ別コンテストからユーモアスピーチコンテストを選択したのかを尋ねた。教育担当ディレクター岸は、オンラインでのテーブルトピックスコンテストや論評スピーチコンテストの運営は技術的に難しく、ユーモアスピーチコンテストの運営方法は国際スピーチコンテストのそれと似ているためである旨、回答した。教育担当ディレクター岸は、他の理由としては、ディストリクト76での最後のテーマ別スピーチコンテストはほら吹きスピーチコンテストであり、通常の順序で言えば次はユーモアスピーチコンテストであるためである旨、回答した。

14:48 CGD Report

クラブ担当ディレクター 宮脇 貴英

クラブ担当ディレクター宮脇は、2021-2022年度ディストリクト76のクラブ及び会員増強計画について説明し、CGDの委員会を紹介し、出席者に会費更新について注意喚起した。

15:03 PRM Report

広報マネージャー 内田 勇輝

広報マネージャー内田は、2021-2022年度ディストリクト76の広報計画及び目標について説明した。

15:12 Intermission

ディストリクトディレクター松本は、2020-2021年度財務報告について質問を受け付けた。

鈴木（会長、広島フェニックス）は、総務費が予算よりかなり多かったのはなぜかと尋ねた。前財務マネージャー鈴木は、これは主にオンライン設備に関する支出による旨、回答した。

大田（会長、倉敷）は、トーストマスターズ外マーケティング費の使途はどのようなものかを尋ねた。前財務マネージャー鈴木は、前ディストリクトディレクター大橋が、マーケティングのための企業訪問に費用を支出したと回答した。

上野（会長、コスモス）は、議事録と資料は会議後に配布されるのかを尋ねた。ディストリクトディレクター松本は、議事録と資料は1ヶ月程度で配布される予定だと回答した。

長谷川（教育、神楽坂）は、オンライン設備費の詳細について尋ねると共に、その費用はクラブから請求されたのかを尋ねた。前財務マネージャー鈴木は、その支出は主に前期ITディレクター及び総務マネージャーから請求されたものであり、クラブから請求されたものではない旨、回答した。総務マネージャー柏木は、当該支出は、ZOOMミーティングやZOOMウェビナーのために請求されたものである旨、回答した。

15:35 2021-2022年度予算案の承認

ディストリクトディレクター 松本 真紀

オンライン投票のテストが行われた。

15:42 ディストリクトディレクター松本は、2021-2022年度予算の概要を説明した。

動議（裁決）：2021-2022年度ディストリクト76予算案

投票が実施された。総投票数：245。可決必要数（過半数）：123。賛成：243。反対：2。2021-2022年度ディストリクト予算案は承認された。

15:49 デイビジョンディレクター・チーム紹介(A-J)

アシスタントデイビジョンAディレクター足立が、デイビジョンAディレクター寺井を代理して、エリアディレクターを含むデイビジョンAチームを紹介した。

デイビジョンBディレクター孫が、エリアディレクターを含むデイビジョンBチームを紹介した。

デイビジョンCディレクター荒木が、エリアディレクターを含むデイビジョンCチームを紹介した。

デイビジョンDディレクター稲葉が、エリアディレクターを含むデイビジョンDチームを紹介した。

デイビジョンEディレクター渡辺が、エリアディレクターを含むデイビジョンEチームを紹介した。

デイビジョンFディレクター吉川が、エリアディレクターを含むデイビジョンFチームを紹介した。

デイビジョンGディレクター松本が、エリアディレクターを含むデイビジョンGチームを紹介した。

デイビジョンHディレクター酒井が、エリアディレクターを含むデイビジョンHチームを紹介した。

ディストリクトディレクター松本が、デイビジョンIディレクター矢野を代理して、エリアディレクターを含むデイビジョンIチームを紹介した。

デイビジョンJディレクター伊藤が、エリアディレクターを含むデイビジョンJチームを紹介した。

任命されたエリアディレクターは、全出席者により確認された。

16:16 任命委員会委員長の確認

ディストリクトディレクター 松本 真紀

ディストリクトディレクター松本は、ディストリクト76編成準備委員会、ディストリクトクラブ編成委員会、ディストリクトリーダーシップ委員会（DLIC）、全国大会委員会、スピーチコンテスト運営委員会、グローバルリエゾンチーム、TLI委員会、企業クラブ拡張委員会、コミュニティクラブ拡張委員会、クラブ維持委員会、クラブ品質委員会、及び会計監査委員会の各委員会又はチームを紹介し、またそれらの委員長又はリーダーを紹介した。以上の委員会及びチーム、並びにそれらの委員長又はリーダーは全出席者により確認された。

16:27 委員会・チーム活動紹介

グローバルリエゾンチームリーダー 栗崎 由子

グローバルリエゾンチームリーダー栗崎は、グローバルリエゾンチームについて説明した。

ディストリクトディレクター松本は、新規議案を受け付けた。

鈴木（会長、広島フェニックス）は、エリアディレクター及びディビジョンディレクターが担当するパスウェイに関するサポート体制は確立されているのか尋ねると共に、執行部は会員からのパスウェイに対する問い合わせを収集してディストリクト76の会員に情報を提供することを考えているかを尋ねた。教育担当ディレクター岸は、執行部はディストリクト76の会員に対してFAQ資料を準備することを検討していると答えた。また、教育担当ディレクター岸は、エリアディレクター及びディビジョンディレクターが処理できないパスウェイの案件については教育担当ディレクターが処理し、教育担当ディレクターが必要に応じてトーストマスターズ国際本部とコンタクトする旨を回答した。

安達（教育、東京フェニックス）は、クラブコーチの派遣体制は未だ継続しているのかを尋ねた。クラブ担当ディレクター宮脇は、クラブコーチの派遣体制は恒久的なものであると回答した。クラブ担当ディレクター宮脇は、クラブコーチのアサインプロセスとクラブコーチの責任について説明した。クラブ担当ディレクター宮脇は、CGDの委員会がクラブとクラブコーチのマッチングイベントを開催することを検討していると述べた。

山崎（教育、ハイタッチ；会長、横須賀三笠）は、本会議においてユーモアスピーチコンテストの開催に関する投票を、会長及び教育担当副会長の意見を集約するために、会長及び教育担当副会長により行うべきである旨、提案した。クラブ担当ディレクター宮脇は、意見を集約することと投票を行うことは区別されるものであると回答するとともに、投票はトーストマスターズ国際ルールにより行われたい旨、回答した。教育担当ディレクター岸は、コンテスト運営委員会が、クラブからの意見を処理することを検討している旨、回答した。

竹内（教育、東京）は、ユーモアスピーチコンテストを承認するための投票を行う旨の動議を上げた。ディストリクトディレクター松本は、スピーチコンテストの開催の決定は、トーストマスターズ国際ルールに従いDECでなされるものであり当該動議はルール違反（out of order）である旨、回答した。クラブ担当ディレクター宮脇は、スピーチコンテスト開催の投票は、DECにて行われ当該開催は採択されたと述べた。教育担当ディレクター岸は、スピーチコンテストの機会は、執行部のみが提供できる旨を述べた。

青木（会長、大寺町）は、ZOOM料金の割引サービスについての説明を求めた。ディストリクトディレクター松本は、当該割引サービスは、ディストリクト76ではなくトーストマスターズ国際本部から提供されているものである旨、回答した。クラブ担当ディレクター宮脇は、この件について調査し、後日会員に報告すると回答した。

鈴木（会長、広島フェニックス）は、スピーチコンテストの決定がDECで行われることの根拠規定の提示を要求した。ディストリクトディレクター松本は、その根拠はプロトコル6.0であると回答した。

17:10 連絡事項

ディストリクトディレクター 松本 真紀

ディストリクトディレクター松本は、閉会挨拶をした。

17:13 閉会